

ビデオ学習会開始時の説明文 第1巻用

2018. 11. 5 (月)・6 (火)
教育委員会

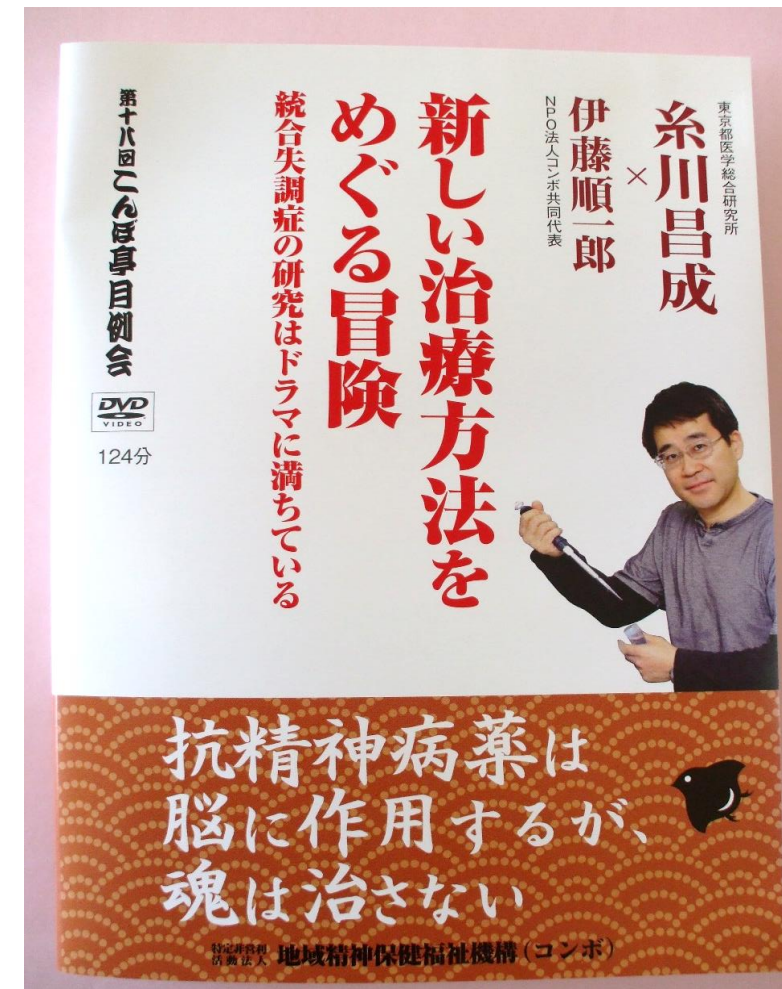
ビデオ学習会第1巻の「**新しい治療方法をめぐる冒険～統合失調症の研究はドラマに満ちている～**」を見ていただきます。今日、登場する糸川昌成先生は、現在、東京都医学総合研究所において、最新の統合失調の薬を開発研究している先生です。新薬は、医師主導治験が終了し、薬品メーカーによる大々的な臨床治験が始まっている頃かと思います。

今日のDVDでは、まず長い研究生活の中でも臨床医としての診療を欠かさない先生の姿勢を見ていただきます。そして新薬の開発者が語る「抗精神病薬は脳に作用するが、魂は治さない」ということを理解していただきたいと思います。

DVDは、3部に分かれていて全体で95分ですが、第2部の具体的な新薬の開発研究は理論的に難しいため、第1部の先生の人となりが見られる最初の研究の過程と、第3部のたぶん私たちが一番学ぶべき「魂を治す、魂に向き合うとはどういうことか」が伝わる「家族としての旅の物語」を見ていただきます。

おおよそ、第1・第3部通して60分程度です。

では、始めます。



ビデオ学習会開始時の説明文 第2巻用

2018.11.12(月)・13(火)

教育委員会

ビデオ学習会第2巻の「**自傷—やめたい!でもやめられない**」を見ていただきます。

松本俊彦先生は、国立精神神経センターに所属され「薬物・アルコール・ギャンブル等のアディクション」いわゆる依存症研究の第一人者です。

また、自殺予防総合対策センターの副所長でもあり、今回お話しされているような自傷行為や摂食障害、自殺についても数々の研究を発表されています。始めればわかりますが、全国学会等の講演も多く、その内容は対象者を取り巻く環境への鋭い洞察やキレッキレの口調と裏腹な温かさに満ちています。

当院にも、リストカットをはじめアルコールなどの依存症や自傷行為が常習化した対象者はたくさんいます。今日の松本先生の話をも、日頃の臨床のヒントにしていいただければと思います。

時間は約55分です。では、始めます。



ビデオ学習会開始時の説明文 第3巻用

2018.11.19(月)・20(火)
教育委員会

今回のDVDは「精神医療という文化を語る」です。講師の伊藤純一郎先生は、国立精神・神経センターにおいて、精神病者のリハビリや国内における地域精神医療をけん引してこられた精神科医です。国立精神・神経センターを退官した後、千葉県市川市において、国内ではまだ珍しい訪問型のクリニックを開設されています。

病棟や外来にも置いてある当事者が編集する精神医療雑誌「心元気プラス」の発行など、広く一般の方向けの啓もうを行う地域精神保健福祉機構（通称コンボ）の共同代表理事、日本家族・心理教育ネットワークの代表幹事でもあり、ACTや心理教育の普及に尽力されています。

対象者に向き合う姿勢は、いつお会いしても圧倒されるものがあります。本人の痛みや苦しみに寄り添うこと、「病」に圧倒されないように「対処法」を共に考えること、背景にあるその人のしんどさを一緒に研究（これは、北海道浦河町べてるの実践からきた言葉で、主体的に自分の病気を自分で研究しようという言葉です）しようとされます。

前置きが長くなりましたが、ぜひ、いろいろなことを感じてほしいと思います。

時間は約40分です。では、始めます。

